

横浜市立錦台学校 令和3年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○教職員一人ひとりが本校学校教育目標の具現化を目指し、生徒とのふれあいを大切にし、教職員がお互いに豊かにコミュニケーションを図り、「チーム」として機能する活力ある学校づくりを目指します。	
○「わかる授業」「楽しい授業」の展開を通して、学ぶ意欲の向上と基礎基本の定着を目指します。	
○人権を尊重し、互いの良さを認め、「相手の立場になって考える」「相手へのいたわりや、優しさの心を持つ」生徒を育みます。	
○相談活動を充実させ、心身が健康な生徒の育成と安全な学校生活を目指します。	
○学校評価を生かし、保護者や地域と協働し、「まち」と共に歩む学校づくりを目指します。	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
健やかな体		①落ち着いて学習できる環境を整えるため、教室や校内の環境美化に努める。 ②新体力テストの結果をもとに単元ごとの課題設定を行う。また、体育科の授業や部活動を通して、持久力、体力の向上を図る。 ③授業等を通し、「食育」「性に関する教育」「薬物乱用防止教育」を推進し、健やかな成長を支援する。
担当	保健環境指導部 体育健康プラン委員会	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・多くの生徒は、基本的な生活リズムが身につけているが一部の生徒には朝食を摂らずに登校する生徒もいる。
- ・地域に外遊びができる空間は十分あるものの、塾に通っている子どもも多く、体を動かす習慣が身に付いているとは言えない。そのため、体を動かすことが好きな生徒と、苦手な生徒との二極化が顕著に表れている。
- ・全校の約70%の生徒が運動部に所属している。放課後はグラウンドや体育館等で運動に取り組む生徒は多い。
- ・保健室の利用状況（傷病の状況）は、心の不安定さから来室する子どもが多く、その対応に追われている。

(2) 体力の概要と要因の分析

一昨年度のスポーツテストの調査結果から、反復横とびと50m走は平均を上回ったが、それ以外は平均を下回る結果となった。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・保健体育科教諭の専門性を生かし、種目ごとに教員を入れ替え、きめ細かく、専門的な指導を行います。
- ・学校として筋力の値が低いいため、準備体操にトレーニング・ストレッチングを取り入れ、筋力アップについての指導を全学年で行います。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、生活に関わる基礎的な知識と技術を体験を通じて定着させるとともに、「食育」を通じて食の大切さを意識し、自分の課題を発見し追求する姿勢を育てます。

道徳・特活・総合

- ・体育祭では、体育科・保健体育科で培った資質能力をさらに発展させ、生徒中心の行事となるような取り組みをします。
- ・保健委員会では、生徒の健康面を委員会内でも共有し、担任を中心にきめ細やかに対応します。

課外活動

- ・運動部活動の推進
- ・保健体育の時間（前後）の筋力を伸ばすための時間を確保する。
- ・昼休みにボールの貸し出し

令和3年度 横浜市立錦台学校 体力向上1校1実践運動

- 《名称》 体育行事の充実
《ねらい》 運動機会の確保、教員の指導力向上
《内容》 体育的行事を体育祭実行委員会や各学年の学年協議会（生徒）が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。
（行事例）3学期：球技大会、通年：学年レク

- 指 標： ①各行事後の振り返り 「事前取組」「満足度」
②スポーツテストの結果や生活実態調査から検証する。

※体育・健康プランは学校全体の体育・健康に関する指導の全体計画であり、体力向上の取組である「体力向上1校1実践運動」はその一部です。

※体力向上1校1実践運動の取組については、学校ホームページに記載してください。

＜参考＞ 学習指導要領総則 「学校における体育・健康に関する指導は、児童（生徒）の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。」